

CONTENTS

	ページ
巻頭言 : サービスを有効に利用したい (看護学科 中村美知子)	1
雑誌の動き	2
お知らせ	
2年次生も特別利用ができます	3
私費用複写機が増設されました	3
Nature immunology オンラインで提供	3
EBMRのサービスをネットワークで 10月から開始	4
新着図書案内	5
編集後記	

サービスを有効に利用したい

看護学科 中村美知子

私が看護学生だった頃、日本中の大学は学生運動にゆれ、東京の街はミニスカートやヒッピーの若者であふれていた。多くの若者は、自由にあこがれ、制度や慣習に何らかの反発を感じ、何かを変えたいと思いつつ、できない自分の無力さとの狭間で葛藤していた。当時の看護学生の多くは全寮制であり、公私の区別のつかない窮屈な生活ではあったが、同年代の人達と昼夜を徹して話し合い、憂さを晴らすことも多かった。講義や実習は朝8時から始まり、時には7時から開始することもあった。講義はほとんどが板書で、参考書は限られた教科書を用いて型どおりの授業が行われることが多かったため、早朝からの講義では居眠りの学生も多かった。当時の図書室は教室と並んで狭く、暗い部屋で、小さな机と固い椅子が10個ほどある部屋だったので、私も友人たちも図書室で本を読んだり、勉強をした記憶はほとんど残っていない。寮生活は、テレビもなく、新聞も読む機会が少なく、数少ない専門書を多少かじった生活を送っていた当時の学生たちが、何から情報を得ながら、昼夜を通して看護論や社会改造論を論ずることができたのか、今考えると不思議なくらいである。

あれから約30年を経た今、私自身は立場をかえて毎日看護学生たちと過ごす生活に喜びを感じている。本学の看護学科は開設後6年目を迎えて2回の卒業生を送り出し、大学院生もふえて充実しつつある。世は情報化時代を迎え、図書館には30年前予想もつかなかった内外の雑誌が所狭しと並んでいる。看護学科開設当初は看護の専門書が少ないと、学生をはじめ教官から図書館長や事務職員の方々に要求することも多かったが、インターネットサービスや蔵書の増加により、要望の声が徐々に小さくなってきたような気がする。これも、学長や図書館長はじめ多くの方々のお力添えによるものと感謝している。研究室にいながらのインターネットによる文献検索や文献コピーサービスは、何と便利になったことかと、昔の学生時代を思い出しながら有難さを痛感している。一方、情報が多くなった便利さと反比例するかのごとく、看護論や社会改造論を論ずる学生時代のような熱意が薄れつつある自分をみると、本や雑誌で得た新しい重要な情報をもとに充分思考したり、情報をテーマに真剣に話し合う機会をもつなど、情報は活用することに意義があることを改めて考えさせられる。図書館のさらなるサービスを充実させていくためには、教官や学生が現在あるものをいかに有効利用をするのかにかかっていると、叱咤激励させられる思いである。

雑誌の動き

平成13年度購入学術雑誌について

中止

Abdominal imaging
American journal of neuroradiology
American journal of respiratory cell and molecular biology
Cytokine
Diabetes care
European journal of nuclear medicine
International nursing index
Journal of clinical oncology
Journal of computer assisted tomography
Journal of magnetic resonance imaging : JMRI
Journal of nursing scholarship
Lipids
Magnetic resonance in medicine
Nurse educator
Nursing diagnosis
Radiologic clinics of North America
Seminars in hematology
Seminars in thrombosis and hemostasis

英語青年
教育と医学
実験医学
内科
Molecular medicine
Quality nursing

放射線医学
放射線医学
耳鼻咽喉科学
外科学第1
臨床看護学
放射線医学
図書館
放射線医学
放射線医学
放射線医学
人間・基礎看護学
臨床看護学
放射線医学
人間・基礎看護学
人間・基礎看護学
放射線医学
臨床検査医学
臨床検査医学

英語
看護部
内科学第3
内科学第3
内科学第3
臨床看護学

新規

Acta anaesthesiologica Scandinavica
Asia Pacific journal of pharmacology
Carcinogenesis
Cardiology in the young
Current opinion in genetics & development
European urology
The journal of allergy and clinical immunology
Journal of clinical oncology
The journal of clinical psychiatry
Lancet
Molecular pharmacology
Nature medicine
Nursing research
Plastic and reconstructive surgery

手術部
薬理学
外科学第1
外科学第2
動物実験施設
泌尿器科学
耳鼻咽喉科学
外科学第1
精神神経医学
産婦人科学
薬理学
泌尿器科学
臨床看護学
図書館

お知らせ

2年次生も特別利用ができます。

図書館では、医学科2年次生・看護学科2年次生に特別利用（カードによる入退館）を許可することにしました。また、3年次生以上や大学院生で許可を受けたい方も申請してください。申請書に記入し、利用講習会（9月18日から29日まで開催）に出席してください。申請書の受付期間は9月20日までです。

なお、現在の1年生は来年4月に受け付けを開始いたします。

私費用複写機が増設されました。

図書館の私費複写機は、丸善が国から場所を借りて運営しています。図書館として、順番待ちが少なくなるように、昨年度より丸善と協議してきましたが、新規の増設は複写枚数の関係から難しいとの返事でした。今年度になり、学生会から増設の希望が学長にあり、再度丸善と話し合った結果、丸善売店に設置してある複写機を図書館へ移設し、合計2台とすることになり、すでに8月末より稼動しています。

処理能力が2倍になったとは言え、お昼休みや閉館間際には列となりますので、順序良くお使いください。

また、図書館資料（図書・雑誌など）を複写する際は、著作権の問題を考えて記帳していただいています。ご協力をお願いいたします。

Nature immunology オンラインで提供

今年創刊されたNature immunologyのオンラインジャーナル版を利用登録いたしましたのでお知らせします。図書館ホームページ「Full Text を見ることができる雑誌一覧」からお入り下さい。

なお、ご利用は学内ユーザーに限ります。同時アクセス1ユーザーになっていますので、ほかの方が使用中の場合はしばらくお待ち下さい。利用期間は2001年8月31日までです。

EBMRのサービスをネットワークで10月から開始

図書館では、Medlineで選択した論文を下記の2つの条件を満たす論文に絞り込むことができるEBMR (Evidence-Based Medicine Reviews) データベースを10月からネットワークで提供開始するべく今準備をすすめています。EBMRは、Best Evidence とThe Cochrane Database of Systematic Reviewsの2種類の情報源から構成されています。

(収録範囲：1991年から現在まで、更新頻度：年4回)

1 . Best Evidence

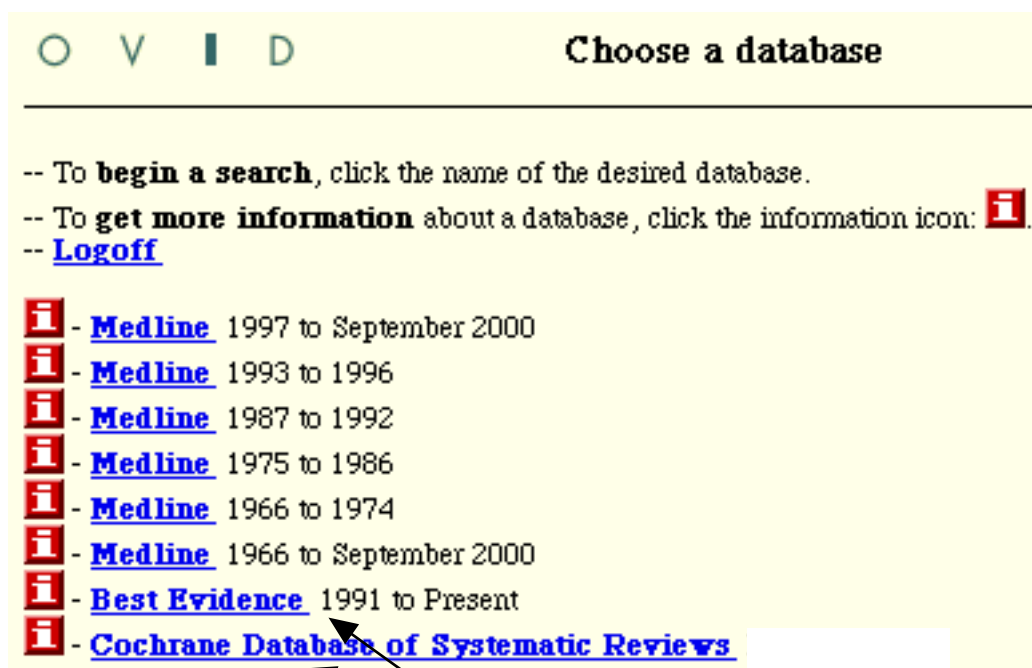
ACP Journal Club と Evidence-Based Medicine を収録しています。重要な臨床医学雑誌から、一定の基準を満たした論文をのみを採択し、構造化抄録 (Structured abstract) の形式で1ページに項目別にまとめられている優れた臨床研究の論文の要約集のデータベースです。質の高い価値のある論文を、最低限のポイントを押さえて、短時間で読むことができます。

2 . The Cochrane Database of Systematic Reviews

コクラン共同計画の中心的なデータベースで、臨床上のトピックごとにシステマティック・レビューがなされ、Review (システマティック・レビュー結果)と、Protocol (進行中のレビュー)で構成されています。

コクラン共同計画 (The Cochrane Collaboration) は、1992年に英国で発足した治療、予防に関する医療の評価調査プロジェクトで、ランダム化比較試験 (randomized controlled trial : RCT) を中心に、世界中のClinical Trialのシステマティック・レビュー (Systematic review : 収集し、質評価を行い、統計学的に統合する) を行い、その結果を、臨床家に対し現時点での標準的な治療、予防の情報を提供するのを主な仕事としています。

参考文献：名郷直樹．EBM実践ワークブック:よりよい治療をめざして．南江堂，1999
(図書館2階にあります。請求記号：WB102/EBM)



The screenshot shows a web page with the title "Choose a database" and a list of database options. Each option is preceded by a small red square icon with a white letter 'i'. The options are:

- [Medline](#) 1997 to September 2000
- [Medline](#) 1993 to 1996
- [Medline](#) 1987 to 1992
- [Medline](#) 1975 to 1986
- [Medline](#) 1966 to 1974
- [Medline](#) 1966 to September 2000
- [Best Evidence](#) 1991 to Present
- [Cochrane Database of Systematic Reviews](#)

このようになる予定です

編集後記

暑かった夏がようやく過ぎ去り、爽やかな秋風が感じられ、日の落ちる時間も早くなってきた今日この頃です。

秋の夜長の言葉どおり、いよいよ過ごし易い夜が戻ってきました。皆さんは、読書や音楽鑑賞・映画鑑賞などで有意義な時間を過ごしていらっしゃるでしょうか。

私は最近読書（と呼べるもの）から疎遠になってしまっています。娯楽のための読書だけでなく、何か生きていくための糧となるような書物を、時間をかけて読んでみたいと思うのですが、時間がない・面倒だなどと諦めてしまいがちです。

読書という簡単な作業ですが、生活のペースを向上させるような前向きな姿勢で取り組めたらいいな、と思います。（H.F.）



編集 / 発行 山梨医科大学附属図書館

<TEL> 直通 273-9353 情報管理係 内2108

図書課長 内2106 情報サービス係 内2109

総務係 内2107 カウンター 内2110

<URL> <http://www.yamanashi-med.ac.jp/~tosho/home.html>